

令和7年度 静岡県立総合病院
検体搬送用気送管設備更新工事

特 記 仕 様 書

令和7年度静岡県立総合病院検体搬送用気送管設備更新工事特記仕様書

1.一般事項

- (1) 工事名
令和7年度静岡県立総合病院検体搬送用気送管設備更新工事
- (2) 施工場所
静岡県静岡市葵区北安東地内
- (3) 工事概要
φ150型気送管設備の制御機器を新制御システムへ入替・更新を行うものとする。
併せて国産化して機械部品への更新を行うものとする。
- (4) 施工時期
詳細工事工程は発注者と協議し決定とする。
受注者は、工事に伴う気送管設備の停止期間をできる限り短縮する努めることとする。(系統やステーションを限定して可能な限り稼働するものとする。)
- (5) 工事完成期限
令和9年3月19日
- (6) 施工基準
本工事は仕様書に基づいて施工するものとする。
- (7) 納入機器変更
発注者から機器構成及び機器台数の変更申出があった場合は、双方協議の上対処すること。
- (8) 設備概要
本設備は、各ステーションを単管のφ150丸型管路で連絡し、搬送物を収納した気送子の相互搬送を行うものとする
- (9) 設備仕様
 - ① 型 式 φ150型
 - ② 搬送方式 吸引及び圧送による単管往復相互連絡自動出発方式
 - ③ 搬送速度 約 3～7m/sec 程度
 - ④ 搬送物 書類・検体・薬品 等
 - ⑤ 搬送重量 最大 3kg 程度 (既存設備状態による)
 - ⑥ ステーション数 2系統 19ステーション (使用休止中2箇所を除く)
 - ⑦ 選局方式 押釦選局方式 (更新後タッチパネル選局方式)
- (10) 引き渡し条件
本工事終了後は、全システムの正常な運転を確認し、引き渡しとする。
完成引き渡しの後、保証期間内に工事及び材料不良のために生じたと認められる直接及び間接的損害は、受注者の負担にて迅速に復旧するものとする。
- (11) 保証事項
本工事対象機器は、納入後12箇月以内において、明らかに機器設計製作及び施工上の不良によるものと認められる障害が発生した場合は、無償にて取換または改修を行うものとする。

2.施工条件

(1) 工 事 内 容 下記の表に工事内容を示す。

1 制御システム更新

No.	工事内容	数量	工事内容
5-1	中央制御装置	1 式	中央監視装置（運行監視ソフトウェア共、インターフェイス装置）を新型に更新するものとする。
5-2	ステーション	19 台	新ステーション制御装置に変更・更新するものとする。 LAN 接続工事を行う。 新操作パネルに変更・更新する。 休止ステーションは更新後使用不可となる。
5-3	排風装置	2 台	ブロワ制御ユニットを設置する。 LAN 接続工事を行う。
5-4	転換器（4 方向）	11 台	ダイバーター制御ユニットを設置する。 LAN 接続工事を行う。
5-5	無停電電源装置	1 台	無停電電源装置を設置する。

2 機器整備

No.	工事内容	数量	工事内容
5-6	ステーション	19 台	下記部品を国産化部品に交換する。 ・ステーションサブユニット、満杯センサ ・受信ショートサブユニット、受信用クッション
5-7	転換器（4 方向）	10 台	下記部品を国産化部品に交換する。 ・駆動サブユニット、軸受、リードスイッチ ・シールリング、シールフランジ ・シールリング、シールパッキン
5-8	排風装置	1 台	下記部品を国産化部品に交換する。 ・ユニット一式 200 系排風装置に更新済みのため 100 系のみ実施するものとする。
5-9	バキュームパイパスバルブ	1 台	下記部品を国産化部品に交換する。 ・ソレノイドサブユニット

(2) 作業日程

指定した日に作業を実施すること。なお作業に関しては各フロアで許可された日程・時間を厳守すること。

(3) 施工の実施について

感染症対策が必要な場所での作業に関しては、担当者と協議の上対策を講じること。また、配線作業等、塵や埃の発生する作業を行う際には塵や埃が拡散しないようビニール養生等を施すこと。

(4) 施工中の安全確保及び環境保全について

工事に際し公衆災害の防止、施工中の安全確保及び環境保全のための関係法令の記述に従う他以下の項目に留意すること。

- ① 高所作業における落下・転落防止
- ② 作業場における酸欠状態及び有毒ガス等の発生防止

(5) 発生材

発生材は廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき指定された処理施設へ適切に処分すること。

(6) 品質・性能条件

原則、24 時間 365 日稼働が可能なシステムとする。

(7) 既設機器撤去処分

下記既設機器を担当職員と打合せの上、撤去処分すること。

- ① 既設気送管設備：産業廃棄物マニフェストに基づく。
- ② 既設周辺機器・既設配線材料：産業廃棄物マニフェストに基づく。

(8) その他

- ① 作業箇所の周辺は常に整理整頓を行い、また、必要に応じて清掃し、作業員、職員、入院患者、外来者の安全に支障のないよう十分留意すること。
- ② 機器等の搬入、据付、調整及び工事等の各作業については、現場の状況を考慮し、特に入院患者、外来者が付近にいる状態での作業に関しては安全に支障のないよう十分留意すること。
- ③ 機器等の搬入、据付、調整及び工事等の各作業に伴う騒音、振動等は極力抑えるものとするが、執務及び入院患者に影響が予測される場合は、事前に担当職員等と協議のうえ、承諾を得ること。

3.工事区分

- (1) 工事区分 工事区分は以下の通りとする。

No.	工事項目	搬送	別途
1	制御装置・機器部品交換更新、二次側電気、試運転調整	○	
2	発生材料処分費	○	
3	搬送設備用LAN工事	○	
4	インターネット接続工事	○	
5	工事用仮設電源及び工事用水		○
6	設備停止期間中のメッセージャー費用		○
7	点検口工事		○
8	アスベストの有無確認		○
9	1次側電源供給工事		○
10	コア抜き・レントゲン撮影工事		○